広報

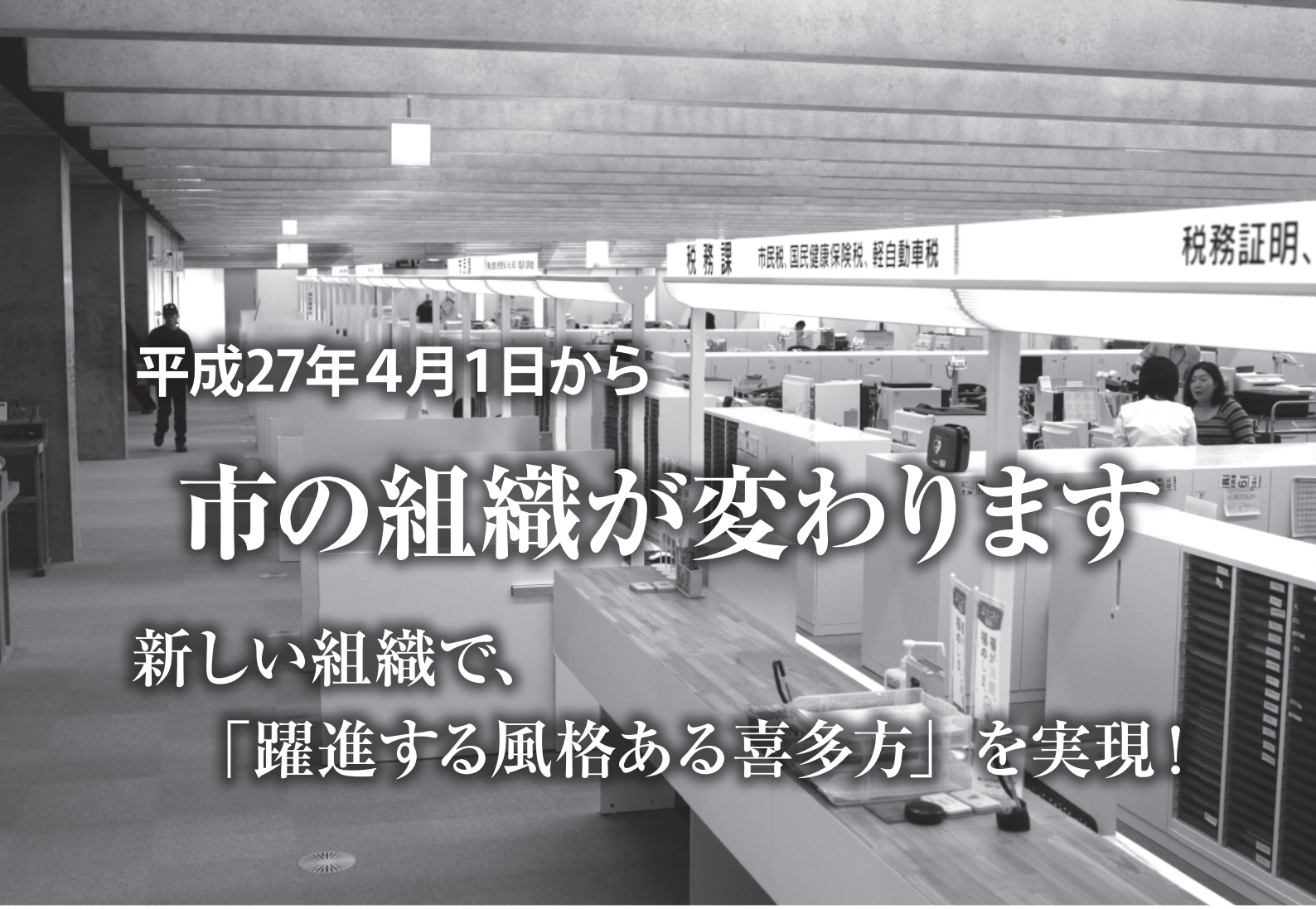
きたかた

2015.4月号
No.112



今月のおもな内容

4/1から市の組織が変わります……②
平成27年度予算概要をお知らせします……④
ふくしまデスティネーションキャンペーン始まる…⑩
きたかた　フォトニュース……⑭
本庁舎出入口・駐車場の変更……⑳
平成27年　農作業料金・賃借料情報……㉚・㉛



平成27年4月1日から

市の組織が変わります

新しい組織で、「躍進する風格ある喜多方」を実現！

少子化対策・子育て支援・人口減少対策など
未来を拓く政策を推進

組織の見直しの主なポイント

1　保健福祉部・こども課の新設

少子高齢化社会の進展、保健福祉分野の国の政策などにより、市民部の業務量が増大かつ複雑化したため、よりきめ細やかなサービスを提供するため、市民部から保健福祉分野を分離し、保健福祉部を新設します。

また、多様な子育て支援を一体的に処理し少子化対策を一層推進するため、こども課を新設します。

2　生活環境課の分課

異常気象などにより災害が多発している状況を踏まえ、非常事態に迅速に対応するとともに、防災、減災への取組みを強化し、増加傾向にある鳥獣被害などに迅速に対応するため、生活環境課を生活防災課と環境課に分課します。

3　企画部門の組織の見直し

部署間の横断的な連携と調整を図り、組織として一層効率的かつ効果的な運営を図るため、企画部門の企画・調整の権限と体制を強化するとともに、市民の声を市政に反映し、これまで以上に市民本位の市政づくりを推進するため、広報広聴機能を企画部門に移管します。

4　建築住宅課の新設

教育施設を含む市の施設の営繕を集中的に処理し、建築行政の効率化と技術の向上を図るため、各課に配置していた建築技術職員を建設部に集約し、建築住宅課を新設します。

5　総合的な組織の見直し

必要な組織を設置するに当たっては、事業の終了などにより業務量が減少した組織を廃止・統合するなどスクラップ アンド ビルドにより、組織拡大の抑制に努め、課内組織を統合し協力体制の強化を図るなど、今後、本市の基本計画に掲げる諸施策を効率的かつ確実に実施できる組織を目指して総合的に見直しを行いました。

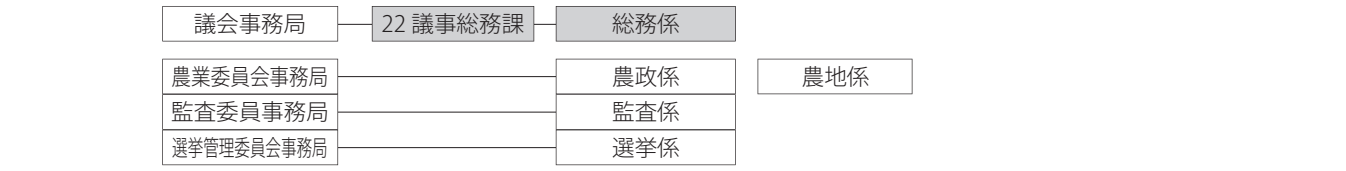
詳しくは、4月1日配布の冊子「市の組織が変わります」をご覧ください。

問 総務課 人事係 ☎(24)5211

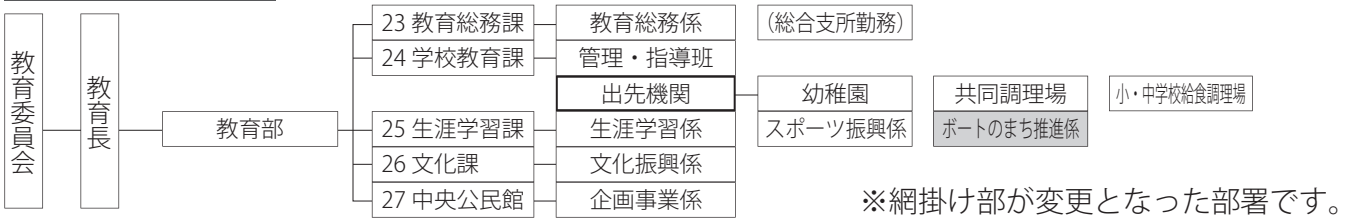
新 た な 組 織 機 構　（平成27年4月1日～）



議会、行政委員会



教育委員会



※網掛け部が変更となった部署です。

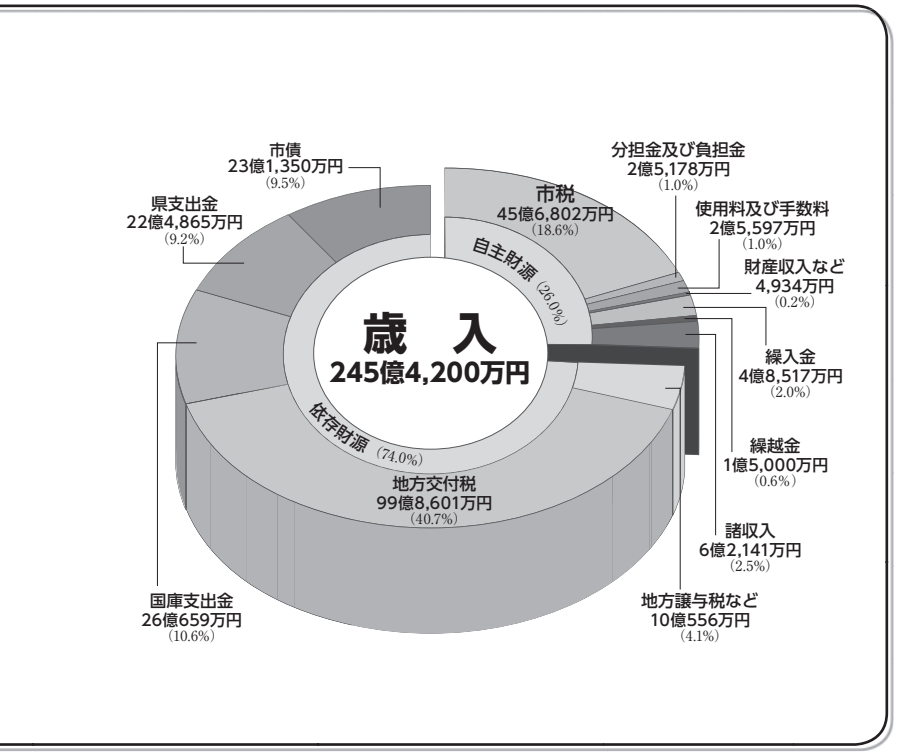
27年度 予算概要をお知らせします

少子高齢化などへの対応、産業の振興、子ども・女性・若者を大切にし、お年寄りや障がい者の方に優しいまちづくりの推進、東日本大震災・原発事故による風評被害などからの復興と財政健全化にむけて

平成27年度当初予算は、市総合計画に掲げる目標の着実な達成を図るため、引き続き「新重点推進事業枠」を設け、重点的に予算配分を行うとともに、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による風評被害などからの一日も早い復興並びに財政の健全化の確保を図るため、事業の重点・選別化を念頭に置いた予算編成となっています。一般会計当初予算の総額は245億4200万円で、平成26年度当初予算と比較して8億9300万円の減となっています。総合計画に基づく将来像「豊かで元気な農山村と活力ある生活・観光都市」の実現を目指し平成27年度のまちづくりがスタートしました。

「一般会計」は245億4,200万円

ます（平成27年2月1日現在の現住人口4万9,712人で算出）



一般会計当初予算の概要

歳入については、個人市民税においては給与所得・農業所得の減少、法人市民税においては企業収益の減少及び設備投資、固定資産税においては評価替えに伴う影響によりそれぞれ減収が見込まれます。軽自動車税においては税率改正の影響から増収が見込まれるものの、市税全体については、前年度当初予算と比べて減額となる見込みです。地方交付税は国の地方財政計画を参考とした見込みなどから減額となる見込みです。国庫支出金は、施設型給付費等負担金などの増加により増額となる見込みです。繰入金は新本庁舎建設事業の完了に伴う庁舎等整備基金からの繰入の減少により減額となる見込みです。また、市債についても新本庁舎建設事業の完了により減額となる見込みです。このような見込みから平成27年度一般会計歳入予算は、前年度当初予算と比べて8億9300万円の減額となっています。

歳出については、少子高齢化などへの対応、産業の振興、子ども・女性・若者を大切にし、お年寄りなどへ優しいまちづくりの推進、東日本大震災及び原子力発電所事故による風評被害などからの復興に向けた対応のため所要額を計上しました。また、第三中学校体育館改築にかかる工事費などの所要額を計上しました。

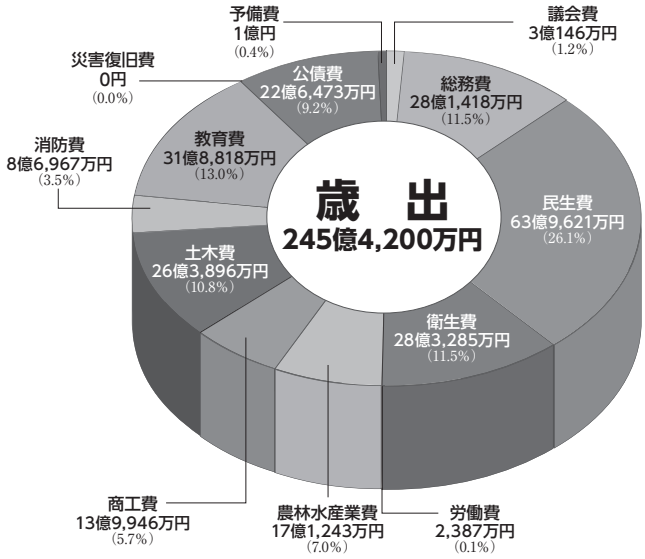
市の将来の都市像である「豊かで元気な農山村と活力ある生活・観光都市」の実現に向けて、市総合計画に基づく諸施策の着実な推進、東日本大震災及び原子力発電所事故による風評被害などからの一日も早い復興並びに財政の健全化の確保を図っていくことが併せて必要となるため、必要性、緊急性、優先度及び事業の終期などを考慮し、平成28年度からの普通交付税などの段階的縮減に向け、財源を有効に活用する観点から、事業の重点・選別化を念頭に歳出予算の計上を行いました。

予算編成の要点

市総合計画の目標を達成するため特に重要な事業（マニフェストに基

みんなの暮らしに身近な予算の

市民一人当たり49万3,684円が使われ



づき重点的に行う事業又は重要な課題に対応するための提案事業）として、新重点推進事業（63事業、総事業費4億1033万円）を計上しました。

東日本大震災及び原子力発電所事故による風評被害などからの復興のため災害対策基金（市町村復興支援交付金及び自主積立原資分など）を活用することとし、それらの所要経費を計上しました。

新重点推進事業のほか、市民サービスの向上を図る上で、市総合計画に基づき積極的に推進する必要がある事業を重要事業と位置づけ、所要経費を計上しました。

厳しい雇用環境に対応するため、引き続き緊急雇用創出基金事業経費1億6510万円を計上しました。

児童手当の支給、子ども医療費（18歳以下の医療費）の無料化、インフルエンザ予防ワクチン等の接種費の助成など少子化や予防医療に係る扶助費などの所要経費を計上しました。

主な建設事業として、第三中学校体育館改築事業、坂井・四ツ谷線街路事業、喜多の郷整備事業、道路改良事業、消防施設整備事業、新総合支所庁舎建設事業などの所要事業費を計上しました。

問 財政課 財政係 ☎(24)5213

特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	63億3,640万円
後期高齢者医療事業特別会計	5億2,097万円
介護保険事業特別会計	53億8,203万円
公有林整備事業特別会計	823万円
都市計画事業喜多方西部土地区画整理事業特別会計	2,217万円
都市計画事業塩川駅西土地区画整理事業特別会計	8,404万円
農業集落排水事業特別会計	1億9,958万円
下水道事業特別会計	15億4,691万円
駒形財産区特別会計	869万円
一ノ木財産区特別会計	4,060万円
早稲谷財産区特別会計	1,989万円

水道事業会計予算

●収益的収入及び支出〔営業勘定〕（単位：万円）

《収入》

区　分	予算額
営業収益	10億4,303
営業外収益	1億8,583
特別利益	10
計	12億2,896

《支出》

区　分	予算額
営業費用	10億5,461
営業外費用	8,941
特別損失	230
予備費	300
計	11億4,932

●資本的収入及び支出〔資本勘定〕（単位：万円）

《収入》

区　分	予算額
出資金	1億256
補助金	2,000
負担金	8,827
計	2億1,083

《支出》

区　分	予算額
拡張工事費	1億694
建設改良費	4億3,415
企業債償還金	3億6,751
予備費	300
計	9億1,160

※財源不足額7億77万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補てんします。

●業務の予定量

・給水件数　17,670 件
・年間総給水量　5,226,000 ㎥
・1日平均給水量　14,279 ㎥

魅力ある産業が有機的に結びつくまちづくり
～産業づくり～

地域の特色を生かした活力ある農林業の振興

農業振興対策経費

（■がんばる喜多方復興加速化事業〔農林業対策〕747万円）
※首都圏などでのPR活動、市内全域での米の放射性物質検査などの風評被害対策
（■きたかた食のパートナーショップ連携強化事業 225万円）
※首都圏の民間業者との連携による農産物のPRなど
（■6次産業総合推進事業　107万円）
※加工から販売までの支援体制を構築し、6次産業化を推進
（■農作物野生獣被害対策事業　66万円）
※電気柵設置への補助
（■園芸作物施設化促進事業　1,050万円）
（■雄国山麓地区園芸作物等生産支援事業　77万円）
（■中山間地域花き生産支援事業　75万円）
（■平成26年産米価格下落対応利子助成事業　30万円）
（■ゆきちから生産支援事業　250万円）

新規就農対策経費

（■新規就農者・東日本大震災被災地域農業者支援事業 118万円）

水田農業構造改革対策経費

（■水稲再生産緊急支援事業　1,735万円）
※平成27年産米の種もみ代相当分の一部助成

畜産振興対策経費

（■新肉用牛肥育素牛導入事業　198万円）
（■新優良基礎雌牛導入事業　245万円）
（■三ノ倉高原花畑はちみつ生産実証事業　75万円）
※三ノ倉高原花畑の菜の花などから採集されるはちみつ生産の取組に対し補助

土地改良経費

（■震災対策農業水利施設整備事業　9,000万円）
※市内30箇所のため池の耐震性点検

林業振興対策経費

（■広葉樹林再生事業　856万円）
※森林の再生やほだ木生産の推進を図るため、原木林を伐採
（■森林整備・木材利用促進対策事業　33万円）

地域の個性を生かした商工業の振興

商工業振興対策経費

（■がんばる喜多方復興加速化事業〔商工業対策〕　78万円）
（■東日本大震災被災等企業立地支援事業　138万円）
（■ものづくり企業等経営基盤強化支援事業　322万円）
（■地域ものづくり産業発展支援事業　17万円）
※工場見学やものづくり体験など市民と企業等の交流を実施
（■工場用地確保調査事業 371万円）
（◎工場等設置助成金・雇用促進助成金　5,260万円）

中小企業振興対策経費

（■商店街低炭素街路灯導入促進事業　160万円）
（◎制度資金信用保証料補助金　3,000万円）
※市及び県が創設した低利融資等を利用した中小企業者に対する信用保証料の補助
（◎中小企業振興資金貸付金　4億1,900万円）

もてなす心が温かい喜多方流観光の推進

観光振興諸費

（■塩川三大お肉グルメフェア事業　60万円）
（■鏡桜と花見ウォーク事業　67万円）
（■かあちゃんたちの雪室そばまつり事業　59万円）
（■高郷ふれあい交流事業　17万円）

保養施設管理経費

◎温泉保養施設改修工事　2億2,860万円

都市・農山村交流推進経費

（■がんばる喜多方復興加速化事業〔グリーン・ツーリズム交流対策〕　487万円）

花でもてなす観光喜多方推進経費

（■三ノ倉高原花畑事業　1,698万円）
※ひまわり畑をはじめとして、四季折々の花で楽しめる花畑づくり

観光誘客対策経費

（■ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業 534万円）
（■蔵のまち喜多方・蔵観光推進事業　229万円）

健康と思いやりで創る安全で安心なまちづくり
～くらしづくり～

安心で健康に暮らせる保健・医療体制の推進

健康増進経費

（■健康きたかた生活習慣病対策強化事業　679万円）
（■線量計等緊急整備支援事業　271万円）
（■包括的健康づくり推進調査事業　54万円）

地域で育む福祉体制の推進

居宅老人福祉対策経費

（■要援護者台帳システム整備による登録推進事業 315万円）

高齢者介護予防事業費

（■いきいき高齢者介護予防推進事業〔介護保険事業特別会計〕345万円）

臨時福祉給付経費

（◎臨時福祉給付金給付事業　8,747万円）

安全・安心の防犯・防災体制・交通安全対策の推進

地域住宅計画推進経費

（■空き家対策推進事業　150万円）
※老朽危険空き家等解体撤去補助金
（■空き家対策推進事業
※空き家再生推進事業補助金　300万円）

水防対策経費

（■塩川町上江・別府地区水害対策事業　850万円）

防災対策経費

（■防災力・減災力強化事業　520万円）

◎は重要事業、■は新重点推進事業を表します。

問財政課 財政係☎(24)5213

平成27年度 主な事業と予算

豊かな心を育むまちづくり
～ひとづくり～

心を豊かにする生涯学習の推進

生涯学習諸費
（■喜多方市人づくりの指針推進事業　337万円）
文化振興諸費
（■第72期名人戦記念将棋普及事業　87万円）
美術館運営経費
（■芸術家による文化交流事業　500万円）
図書館運営経費
（■ブックスタート事業　38万円）
スポーツ振興経費
（■スポーツ交流都市宣言推進事業　177万円）
※スポーツ教室、喜多方こども駅伝などの開催

特色ある学校教育の推進

義務教育運営経費
（■学校司書配置事業　740万円）
指導推進経費
（■学力向上プロジェクト事業　572万円）
小学校管理経費
（◎体育館暖房設備改修工事　2,100万円）※豊川
中学校管理経費
（◎体育館改築工事　7億1,300万円）※第三
（◎プール改築工事　7,684万円）※塩川
（◎体育館改築設計業務　4,860万円）※第一

安心して子育てができる環境整備の推進

保育所管理運営経費
（■保育所０歳児待機児童解消事業　524万円）
◎地域型保育給付等事業経費　1億3,779万円
児童館管理運営経費
（■放課後児童クラブ事業　1,457万円）
※放課後児童クラブの16小学校区での継続実施
予防経費
（■インフルエンザワクチン接種助成事業　233万円）
※ワクチン接種費用を中学3年生まで助成
◎子ども医療給付費　1億1,495万円
子育て世帯臨時特例給付経費
（◎子育て世帯臨時特例給付金給付事業　2,388万円）



みんなの知恵と協働で創るまちづくり
～地域社会づくり～

住民と行政の協働の推進

企画政策諸費
（■市民と行政との協働モデル推進事業　137万円）
地域振興経費
（■過疎地域・集落対策事業　297万円）
ふるさと創生経費
（■地域のにぎわい創出・行政区低炭素化促進支援事業　1,200万円）
賦課事務経費
（■ご当地ナンバープレート導入事業　106万円）

地域間交流の推進

地域間交流経費
（■友好都市交流促進事業　146万円）

自然・歴史・文化に誇りがもてる地域資源の活用

文化財保護経費
（■「会津の御田植祭」記録作成事業　27万円）
（■蔵等国登録有形文化財保存支援事業　400万円）
（■「喜多方市の歴史」再発見事業　103万円）

自然と共生する美しく快適なまちづくり
～ふるさとづくり～

快適な生活環境の形成

墓地管理経費
（■上ノ山墓地公園整備事業2,018万円）
◎喜多方・塩川線道路整備事業　9,213万円
◎坂井・四ツ谷線街路事業　1,603万円
◎熱塩喜多方線街路事業　200万円
◎御清水沿道整備街路事業　1億6,477万円

人と自然に配慮した環境の形成

鳥獣保護及び有害鳥獣捕獲経費
（■有害鳥獣対策事業　980万円）

地球環境を意識した循環型社会の形成

政策推進諸費
（■小水力発電導入事業　444万円）
塵芥処理経費
（◎汚泥等放射性物質測定事業　21万円）

その他
◎新総合支所庁舎建設事業　4,481万円
◎緊急雇用創出基金事業〔震災対応事業〕　1億3,713万円
◎緊急雇用創出基金事業〔地域人づくり事業〕　2,797万円

平成26年度 喜多方市小学校農業科 作文コンクール大賞決まる

3月号からのつづき



昔ながらのころばしを使って水稲の除草作業を行う様子。（加納小）

小学校最後の米作りで学んだ大切なこと



加納小学校　6年
渡部　光

私は今年の米作りで、どんな事にも真面目に取り組むという事の大切さを学びました。

去年は6年生といっしょに米作りをしました。初めてやることばかりで大変だったし、あまりお米の大切さを考えていませんでした。去年の米作りで初めてやった事の中に「一人暮らしのお年寄りの方への赤飯届け」がありました。私達が作ったもち米を使って、ていねいに赤飯を作りました。しかし、届ける時に6年生ばかりにたよってしまい少しも声を出す事ができませんでした。お礼を言われて、とてもうれしいのになかなか話す事ができませんでした。でも、今年の私は違いました。今年は6年生で最後の米作りなので、真面目にやろうと思い米作りプロジェクト委員になって作業をしました。除草作業では5年生に教えながらやりました。去年は遊びながらダラダラとやっていたのが、今年はとても速く「上手だね。家に田んぼあるの？」と言われるぐらいスムーズに作業をする事ができました。そして、いよいよ赤飯届けです。「今年は5年生に教える立場だし、しっかりやろう」と心に決めて一人暮らしのお年寄りの家に行きました。

「こんにちは。加納小です。赤飯を届けに来ました。私達で作ったので食べて下さい。」

と言うと、

「ありがとう。いつもありがとうね。」

と言って下さいました。今まで何回も「ありがとう」と言ってもらった事があるのに、初めて言われたみたいにとってもうれしくて笑顔になりました。「ちゃんと心をこめて渡すと相手に気持ちが伝わるんだ」と思いました。

私は、今まで自分が苦手な事には真面目に取り組んでいない時がありました。でも、今回の米作りで真面目に取り組むと相手に気持ちが伝わって、こっちがうれしい気持ちや、やって良かったなと思う事ができました。これからは、どんな事にも真面目に頑張って色々な事にチャレンジしていきたいです。

農業科活動を通じて学んだこと



堂島小学校　6年
辰野　楓真

1年生の時、農業科と聞いてもはじめは何をするのかわからなかった自分。でもサツマイモやトウモロコシを作って、作ることがどんどん楽しくなっていきました。

それからはニンジン、長ねぎ、大豆、大根、里いも、ジャガイモ、稲、いろいろ作ってきました。それはぼくにとって学校の授業の中で一番楽しい時間になりました。とても大切な時間でした。



農業科支援員の皆さんとの顔合わせ。地域の皆さんの支えがあるからこそ可能な農業科の授業（堂島小）

作物の種をまいて収穫するまでの間は水やりや草むしり、台風の心配など苦労はありましたが、野菜の出来具合を見ながら収穫し、それを学校で調理実習や収穫祭で食べたときのおいしさは特別でした。みんなが、「おいしい、おいしい。」と食べることに、ぼくは喜びを感じました。

また、農業科では野菜の栄養についても学びました。たんぱく質、ビタミン、カロチンなどです。米も、野菜も、人間になくてはならないものでした。肉と魚だけでは人間の体のバランスが取れないことがわかりました。

家でも米や野菜を作っています。農業科をはじめてからは、さらに祖父との農業の会話が増え、食卓が楽しくなりました。

こんなにすてきな農業ですが、仕事にして行う人は年々減っているそうです。なぜでしょうか?農業を行っている人は年々高齢化し、農業をやめます。若い人たちは農業にみりょくを感じている人が少ないからではないでしょうか?農業のみりょくは自分で育てた野菜などが立派にできた時の喜び。そしてそれを食べた人の笑顔です。ぼくはそのことを農業科で学ぶことができました。体験してわかったことです。体験してみないとわからない世界があります。ぼくはこれからは農業だけでなく、いろいろなことにチャレンジして体験し、自分の力になるものを見つけていきたいと思います。



刈り取った稲をさでがけし、天日乾燥する様子。このあと脱穀作業も手作業で行った。(堂島小)

ぼくが考える農業



堂島小学校　6年
外島　大地

堂島小学校の稲作栽培活動は、4月の種まきから始まります。その後は、6年生が中心となり、水をあげて、苗へと育てます。そして1ヶ月程すると、田んぼへ出かけ、全校生徒で田植えをします。6月になると除草を行います。秋には、穂が実ると稲刈りをします。収穫した米は、堂島フェスティバルの日に親子でもちつきをして、お世話になった協力員の方々に感謝してみんなで食べます。春から秋にかけ、大変な作業をみんなと頑張るから、楽しく特別おいしいと感じると思います。

今年は自宅でも田植えをしてみました。トロ舟に土を入れて、ビオトープを田んぼにしました。そこへメダカを泳がせて、中にわくミジンコなどをエサに、メダカは大きくなり稲も元気に育ちます。自然に水が入らないので、水を足し、除草などの世話をしました。秋になり、米を収穫する事に成功しました。ちゃんと米が収穫できるか半信半疑でしたが、玄米を収穫する事ができて、とても嬉しかったです。

稲の世話をしていると、多くの生き物が田んぼを利用している事が分かります。オタマジャクシやヤゴなど様々です。

現在、田んぼの姿は変わりつつあります。機械化が進み、大量生産できるようになりましたが、農薬や圃場整備により、昔みられた蛍やメダカなどの生物達は、風前の灯となっています。とても残念です。なので、僕は生物の事をしっかり考えて、無農薬で安全な米や野菜を作りたいと思います。農薬を使用しない害虫の駆除法の発見や、どんな土地でも使える機械の発明をしたいです。

生物が消えようとしている今だからこそ、人間と生物が共存できるよう努力して、おいしいお米や野菜を作り、自然豊かな、喜多方になるよう頑張っていきたいです。

作品集巻頭言より　～抜粋～

地方創生と生命のカリキュラムで育つ子どもたち

～「農業科」が拓いた新たな教育～

関東学院大学 教授　佐藤 幸也 氏

約2千人の子どもたちが書いている農業科の作文には、田圃や畑の生きものとの出会い、稲との出会い、農業科を支援してくださる人々との出会い、自分たちが育てた作物を買ってくれる人、一緒に食べてくれる人、作物を届けてお礼を言ってくれるお年寄りとの出会いなどが書かれています。そして、それらとの出会いがもたらす喜び感動が綴られています。

教育は未来を創造する大切な仕事ですが、そこにいろいろな人が参加して、自らの未来をも拓いているのです。ここに喜多方市小学校農業科のねらいが集約されています。喜多方市農業科は喜多方だけでなく、日本のこれからの理想像、すなわち地方創生の理念を示しているのです。

問 学校教育課 ☎(24)5316

大型観光誘客キャンペーン『ふくしまデスティネーションキャンペーン』が開催されます！



市民みんなで「おもてなし」

4～6月に国内最大級の観光誘客キャンペーン『ふくしまデスティネーションキャンペーン（ふくしまDC）』が福島県全域で開催されます。

ふくしまDCでは、「花」・「食」・「温泉」などをコンセプトに、JRグループ6社と福島県が協力して全国から福島県へ大勢のお客様にきていただく取組を行います。

開催期間は
4月1日（水）～6月30日（火）

このふくしまDCは、喜多方市へも大勢のお客様の来訪が期待され、喜多方市の魅力を発信できる絶好の機会です。

市では、ふくしまDCを盛り上げるため、独自の推進組織を立ち上げ、たくさんのお客様に楽しんでいただけるイベントなどの企画をしました。

市民の皆さんもふくしまDCの特別企画を一緒に楽しみ、観光客の皆さんを「おもてなし」の心でお迎えしましょう。

問 観光交流課 観光・物産振興室
☎（24）5249

この他にもたくさんのイベントなどご用意しています

主なふくしまDC特別企画のご紹介

蔵のまち喜多方　蔵馬車の復活運行

蔵のまち喜多方の風物詩「蔵馬車」は、震災などの影響で運行を休止していましたが、ふくしまDCにあわせて、復活運行します。

市内の蔵めぐりや市内街歩きに、ゆっくり楽しんでいただける蔵馬車はいかがですか？同乗するガイドの観光案内で今まで知らなかった喜多方を見つけることができるかも。

○期間　4月4日(土)～6月28日(日)
　の土日祝日のみ運行
○料金　コース1回券　大人1500円
　（1000円）
　コース2回券　大人2500円
　（1500円）
　※（　）内小学生以下
○コース【午前の部】喜多方駅―馬車の駅
【お昼の部】馬車の駅発着市内周回
【午後の部】馬車の駅―喜多方駅



問申
蔵の街観光センター☎(24)4111
観光交流課 観光･物産振興室☎(24)5249

喜多方酒蔵つぅりずむ

喜多方市には約4200棟の蔵があり、味噌、醤油、地酒の醸造にも用いられ、特に地酒については、人口約5万人に対し11の蔵元がある全国でも有数の酒どころです。

年間を通して地酒の新たな魅力を体験する「喜多方酒蔵つぅりずむ」を行います。

ふくしまDC期間中のイベント

■酒蔵探訪のんびりウォーク

喜多方の酒蔵を満喫する極上のウォークラリーです。会津塗のお猪口を片手に、お好みのお酒を探してみてはいかがですか。お酒の外にも休憩ポイントでおいしい食べ物も楽しめます。

○日時　5月23日(土)午前10時～午後4時
○料金　3000円
○会場　喜多方駅前広場出発
○定員　200人

■酒蔵DE女子会

蔵元の女将から日本酒の基礎知識やおすすめの飲み方、効能など、楽しみながらお酒について学ぶことができる女子会です。

○日時　6月中旬
○場所　未定
○料金　3000円
○定員　30人





問申
会津喜多方商工会議所☎(24)3131
観光交流課 観光・物産振興室☎(24)5249

きたかた喜楽里博

パビリオンは町並み、山並み、田んぼに川。コンパニオンは酒蔵のお兄さん、地元アイドル、ラーメン屋の店主、菓子屋のおばちゃん。

普段着の喜多方が一人十色の楽しみ方になる、市民の手づくり博覧会「きたかた喜楽里博」をふくしまDCに合わせて、4月～6月に開催します。

喜楽里博では、「行ってみんべぇ、食って、見て、ふれあってみんべぇ」をコンセプトとして、100以上のメニューを用意しています。

また、4月11日にはオープングセレモニーを開催します。

■オープニングセレモニー

○日時　4月11日(土)午前11時～午後4時
○場所　喜多方駅前広場外
○内容・KIRA☆GIRLによるステージイベント
・会津牛焼肉や採れたて野菜の特別価格販売
・蔵馬車体験搭乗(駅―ふれあい通り)
・イベント限定の喜多方地酒ふるまい「酔道」
・豪華賞品が当たる抽選会など盛り沢山



問申
喜多方観光物産協会
(観光交流課内)☎(24)5200

米価下落対策の取り組みについて

市では、平成26年産米の価格下落に伴い、稲作中心の農業構造の転換を加速化させるため、**「稲作農業構造転換特別対策」**に取り組んでまいります。

この対策は、**主食用米中心の農業形態から非主食用米への作付転換、多様な担い手の育成**を3つの柱とし、既存事業の推進に加え、以下の新規事業を創設し、総合的な施策展開をすることにより、本市農業の構造転換を強力に推進いたします。

また、**緊急対策**として、水稲の再生産への支援にも取り組んでまいります。

【新規事業】

(1)水稲直播栽培促進事業

水稲の直播栽培により低コスト化の取組を行う農業者などに対し、取組面積に応じて支援

(2)水田利用型園芸作物導入支援事業

水田において収益性の高い園芸作物への作付転換を行う農業者などに対し、生産資材や出荷調整用機材などにかかる初期投資の一部を支援

(3)担い手農地集約化支援事業

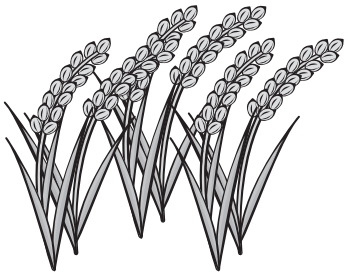
担い手への農地集積に際し、一定要件を満たした農地の出し手と受け手に対する支援

【緊急対策】

水稲再生産緊急支援事業

平成26年産米の価格下落を受け、水稲の再生産を支援するため、平成27年産米の種もみ購入費用の一部を支援

問申 **農林課 農業振興対策室**
☎(24)5235



「補助事業の公募」について

次の補助事業を活用し、規模拡大や経営改善などに取り組む農家や団体などを公募します。

(1)多様な担い手育成支援事業

集落営農の組織化などに向けた取り組みへの支援や、農作業受託組織の農業用機械など導入に要する経費の一部を助成します。

①集落営農等組織化推進支援

・対象者　農作業受託組織、農用地利用改善団体、3戸以上の農業者で組織する団体など
・補助対象経費　座談会開催などに係る事務的経費、経営・法務などに関する専門家依頼に要する経費など集落営農組織化に必要な経費
・補助率　定額(上限10万円)
・募集期限　4月24日(金)

②農作業受託組織等育成支援

・対象者　農作業受託組織、農用地利用改善団体、3戸以上の農業者で組織する団体など
・補助対象機械など　稲作経営に必要な共同利用を目的とした農業用機械・設備・施設
・補助率　事業費の8％以内(上限100万円)
・募集期限　4月24日(金)

(2)先進的モデル経営体育成支援事業

土地利用型農業のモデルとなる先進的な経営体の育成に向けた支援。

・対象者　一定の要件を満たす認定農業者または農産物の共同販売経理を行う集落営農組織
・補助対象機械など　県単独事業の対象とならないトラクター、コンバインなどの農業用機械・施設
・補助率　融資残の1／2以内(上限200万円)
・募集期限　4月24日(金)

(3)アグリチャレンジ支援事業

地域農林畜産物を活かした商品開発や販路開拓に向けた6次産業化の取り組みを支援。

・対象者　農業者、農業生産法人、農業者の組織する団体などのほか食品製造などを行う事業者
・補助対象経費　市場調査やアドバイザー依頼、商品開発に必要な原材料・資材購入、外部業者への加工委託、成分分析委託、パッケージデザイン作成などに要する経費
・補助率　対象経費の2／3以内(上限40万円／年)
・募集期限　4月24日(金)

※応募方法や申請書は市のホームページからダウンロードできます。

問申 **農林課 農業振興対策室**
☎(24)5235

喜多方市議会議員一般選挙

投票日：4月26日（日）　　**告示日：4月19日（日）**

投票時間：午前7時～午後8時（全投票所統一）

≪選挙会（開票）：4月26日午後9時30分　押切川公園体育館メインアリーナ≫

●選挙資格のある方

平成7年4月27日までに生まれた方または平成27年1月18日までに転入届出をされた方で、いずれも引き続き3か月以上喜多方市に住んでいる方です。

●投票日当日の投票

郵送された入場券をお持ちのうえ、**指定の投票所（入場券の表面に記載）**で投票してください。

●期日前投票

投票日に仕事、レジャーや旅行、冠婚葬祭などのために投票できない見込みの方は、期日前投票ができます。

期日前投票のできる場所および時間が変更になっています。くわしくは4月配布のチラシ「期日前投票のお知らせ」をご覧ください。

チラシ裏面が「宣誓書（兼）請求書」になっていますのでご活用ください。

市のホームページからもダウンロードできます。

入場券をお持ちのうえ投票してください。

●他市町村での不在者投票

仕事や旅行などにより投票日当日まで、喜多方市の区域外に滞在している場合は不在者投票ができますが、郵便での請求手続きが必要となりますので早めにお問い合わせください。

●指定病院などでの不在者投票

病気その他の理由で、不在者投票のできる病院や施設に入院・入所されている方は、希望する場合、本人がその病院などに申し出ればその場所で投票ができますので、病院等にお尋ねください。

《喜多方市内の指定病院など》

飯塚病院、入澤病院、エルムホーム、小野病院、北原荘、ケアホームやまと、佐原病院、しののめ荘、しょうぶ苑、鮮雲荘、天心ケアハイツ、鳴瀬病院、パステルヴィレッジ小野、有隣病院（50音順）

●郵便による不在者投票

身体障害者、戦傷病者または要介護者の方で、一定の要件に該当する場合は、郵便による不在者投票（在宅投票）ができます。該当する方で新規に申請する場合は、あらかじめ身体障害者手帳などを添付のうえ、郵便等投票証明書の交付を受けなければなりません。

なお、一定の要件とは身体障害者手帳または戦傷病者手帳の交付を現に受けており、一定の重度の障害を有する方で、部位や程度により異なります。また、要介護者のうち、被保険者証の要介護状態区分が「要介護5である者」として記載されている方などです。

なお、郵便による不在者投票のできる方で、障害の程度により代理記載制度を利用することもできます。

郵便による不在者投票の投票用紙等の請求は、選挙の期日前4日（4月22日）までとなりますので早めに請求してください。くわしくはお問い合わせください。

●選挙公報

選挙公報は、4月21日から23日頃までには、行政区長さんにお渡しできる予定です。

問 喜多方市選挙管理委員会事務局
☎(24)5258

大切な選挙です
棄権しないで
投票しましょう



健康だより

市では、市民の皆さんの健康寿命の延伸と生活の質の向上をめざし、「第二次健康きたかた21」(健康づくり計画)や「第二期特定健康診査等計画」により、様々な施策を推進しています。

その中で平成26年度に実施しました【特定健診受診率向上対策】について報告いたします。

脳梗塞や心筋梗塞などの臓器障害をおこすまで、自覚症状がほとんどないため、その血管変化を知る手段が健診なんです!

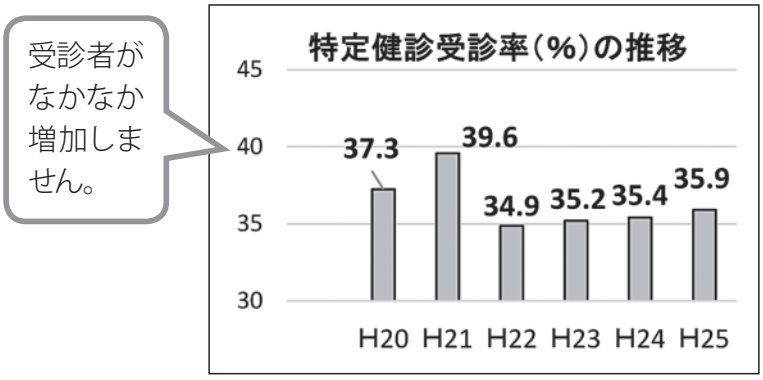


健康寿命の延伸のために、生活習慣病対策が重要です。

◆市の現状

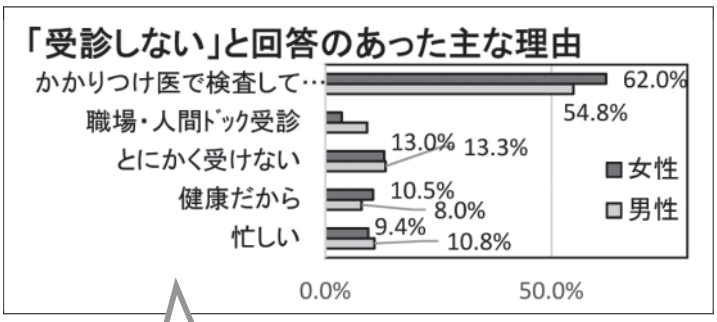
・脳血管疾患および心疾患の死亡率が県平均を大きく上回っています。

・市が実施する特定健診の受診率は半分にも至りません。



◎家族の大黒柱であり、働き盛りでもある40、50歳代から健診を受け予防に取組むことが、重症化や死亡を減少させる大きなカギとなります。

◆平成20～25年度の連続して受診されなかった方を対象に、勧奨はがきおよび電話による受診勧奨と調査を実施しました。



・電話により判明した「未受診の主な理由」は上記のとおりです。

・**また、連続して未受診だった2,998人のうち、受診勧奨により148人が初めて受診されました。**



◆特定健診により、内臓脂肪の蓄積や血管変化(動脈硬化)、その危険度がわかります。毎日の生活習慣が、薬による治療効果にも影響します。

通院中の方も含め、自覚症状がないからこそ、年に1回の特定健診を積極的に受診しましょう。

◇平成27年度の各健(検)診の該当条件・検診内容や会場などの詳細は、各戸配布の『平成27年度喜多方市健康診査等予定表』をご覧ください。

詳しくは、広報きたかた5月号でお知らせします。

✽新40歳になられる方へ✽

なっ、なんと!

0円　で受診できます!
約35,000～58,000円相当!!

- ✽特定健診
- ✽胃がん検診
- ✽大腸がん検診
- ✽肺がん検診
- ✽肝炎ウイルス検診
- ✽歯科健診
- ✽骨検診
- ✽子宮がん検診
- ✽乳がん検診

＊骨・子宮・乳がん検診は、女性のみとなります。

問 保健課 健康推進室
☎(24)5223

特集「食改（しょっかい）」さん

「食生活改善推進員」通称「食改さん」は、健康づくりや食育など食に関心を持ち、市民の身近なところで食をとおした様々な活動している方々です。

食生活や栄養について一定時間の学習をした方が会員となり、現在は225人の食改さんが、『私たちの健康は私たちの手で』をスローガンに仲間たちと楽しく研修をしながら、学んできたことを会員から会員へ、会員から家族へ、お隣さんへと地域に伝え広げるボランティア活動をしています。

主な活動は？

○教室開催

公民館でおやつや食事を作る教室を開き、食事作りの楽しさ、元気な体を作るための食事の量や味付け、バランスのとれた食事づくりのヒントを伝える活動を長年続けています。

○市保健事業への協力

親子ふれあいクッキング、離乳食教室では子育てをしている親が日頃から野菜をとることや適塩の味付けを意識し、自身の健康や食にも関心を持つような働きかけをしています。

郷土料理を子どもたちへ

食育に関心が集まる今日において、食改さんは郷土料理を子どもたちに伝えることや地産地消についての取り組みも始めています。

保育所や幼稚園で親子が一緒に料理を作る機会を作ったり、小・中学校では、収穫された作物を使って調理実習する時の指導者として子どもたちに材料の切り方や器具の使い方を教えたりしています。中学校の家庭科の授業などでも教えています。

食べたことはあっても初めて作る子どもがおり、各家庭において食事や郷土料理を作る機会が減っている中、親から子へ伝えることが難しい現状において先人から受け継いできた食文化を伝える担い手として、食改さんは活動の場を広げています。

食改さんに来てほしい時には

食改さんは、市内各所に出向き、テーマに応じた教室を実施することができます。詳しくは保健課までお問合せください。

食改さんとして活動するには

市で開催する「こつこつ栄養教室」（全8回）に参加し、食の基礎知識や健康づくりについて学んでいただき、修了した方が活動に参加できます。（6月開講予定）

問 保健課 健康推進室 ☎(24)5223



栄養士の 知って役立つ 健康レシピ

今月のメニュー

** ヘルシーかきフライ **



ポイント

きのこはお好みで数種類混ぜるとうまみが増します。子どもから高齢者の方まで食べられる一品です。このまま食べてもOK！かきフライのようにタルタルソースをつけて食べてもおいしいです。ぜひ今晩のおかずのひとつにおススメです。

《 食改さんの料理をご紹介します 》

今月は、喜多方市食生活改善推進員が作った料理をご紹介します！ 2月20日に第14回ヘルスメイト料理コンクールが開催されました。最優秀賞に輝いた五十嵐都子さんの献立です。食改さんは、食を通して家庭・地域への健康づくりを推進しています。

あなたも食改さんになりませんか。

興味のある方は保健課までご連絡下さい。

【材料（4人分）】

鶏ひき肉　200g
しめじ　100g
えのき茸　100g
まいたけ　100g
小麦粉　大さじ2
オイスターソース 大さじ1
塩/こしょう　各少々
パン粉　200g
揚げ油　適量

【作り方】

①きのこ類はすべて粗みじん切りにする。
②ボウルに鶏ひき肉と①を入れ、小麦粉とオイスターソースを入れて、よく混ぜる。
③②をかき貝のように形を整えてパン粉をつけ、油で揚げる。

未来を拓く喜多方人

喜多方市人づくりの指針『ロゴマーク』

生涯学習の広場

行ってみよう！ 見てみよう！ やってみよう！

生涯学習講師派遣事業の講師料支援をご利用ください

グループや団体などの自主的な生涯学習活動で講師を招いて活動をする場合、講師料を助成する講師派遣事業を実施しています。

◆主な条件

①市内に活動拠点を持つ団体やサークルの学習会で、10人以上の参加者があること

②過半数が市民で構成されるグループの学習会で、10人以上の参加者があること

②公的機関が主催や共催になっていないこと

③政治活動・宗教活動・営利目的の学習でないこと

④講師がその団体の会員でないこと

◆講師料

○市内在住の講師…6千円を限度

○市外在住の講師…1万円を限度

※1団体年間2回まで基準に応じ助成します。

◆申込方法

実施日の2週間前までに、申請書を提出してください。

※申請書類など、詳しくは生涯学習課へお尋ねください。

問申 **生涯学習課 生涯学習係**

☎(24)5318

「人づくりの指針」講師派遣をご利用ください

偉人の業績や「人づくりの指針」の内容をわかりやすく解説する講師を派遣します。

皆さんが所属する各種団体で講演会などを開催してはいかがでしょうか。

◆派遣する講師

瓜生岩子刀自、蓮沼門三氏、藤樹学など、「人づくりの指針」についてわかりやすく解説できる団体などから講師を派遣します。

◆派遣する場所

市内小中学校、公民館など

◆助成内容

年度内1回まで市が講師謝金を負担します。（生涯学習講師派遣事業に準じます）

◆派遣の例

○小中学校…総合的な学習の時間、PTAの各種行事

○公民館…各種事業での研修会

○各種団体、各種行事・研修会など

◆申し込み

実施日の2週間前までに、申請書を提出してください。

※申請書提出の前に、電話などで派遣希望の内容、日時、場所をご連絡ください。

問申 **生涯学習課 生涯学習係**

☎(24)5318





▲左から、関柴小学校、熱塩加納公民館、上三宮公民館で昨年実施した様子です。

未来を拓く喜多方人

一つ　強い心・愛敬の心など、豊かな心を持つ人になろう
一つ　命の大切さを知り、心身ともに健康な人になろう
一つ　郷土の自然や文化、歴史、伝統に誇りを持ち、より素晴らしい地域を創造する人になろう
一つ　社会の一員として人の道をわきまえ、良心に背くことのない人になろう
一つ　夢や目標に向けて何事にも挑戦し、世界に羽ばたく人になろう

これらのことを受け、特に家庭教育における親（保護者）の役割を十分に踏まえ、家族の絆を大事にしながら、健康で明るい家庭を築くよう努めよう

なかよくたくましく生きる

○人を思いやり 敬います
○「こんちは」「どうぞ」
　「ありがとう」を言います
○勉強に励み 体を鍛えます
○人として 恥ずかしい行いをしません
○喜多方を誇り 社会に役立ちます

わたしたちは、
くじけない強い心を持って
目標に向かって　やりぬきます

岡山湯郷ベル公式戦応援ツアー参加者募集

市では、2012年に開催した「岡山湯郷ベル選手との交流サッカー教室in喜多方」を契機に、岡山県美作市との交流を行っています。その交流事業の一環として、なでしこリーグ第9節岡山湯郷ベル対ベガルタ仙台レディース戦の応援ツアーを企画します。



岡山湯郷ベルの選手の皆さん

◆日時　5月17日(日)
◆試合会場　宮城県仙台市陸上競技場
◆日程　午前8時出発(押切川公園体育館)→正午 試合会場到着→午後1時～午後3時試合観戦→午後7時到着(市バス利用)
◆募集対象　市内小中学生(小学校3年生以上)
◆募集人数　50人(申し込み多数の場合は抽選となります)
◆参加者負担　1人300円
◆申込み方法　生涯学習課、各公民館、各小学校に備え付けの申込書へ必要事項を記入し4月30日(木)までに生涯学習課へお申し込みください。
問 申 生涯学習課 スポーツ振興係
☎(24)5319

屋内プールの利用助成事業をご活用ください

喜多方市民プールの供用期間外に指定の屋内プールを利用した場合、利用料金の一部を助成して、市民の皆さんの健康・体力づくりを応援します。



◆対象者　小学生以上の市民
◆期間　平成27年4月1日～平成28年3月31日(ただし、市民プール供用期間の6月20日～9月6日を除きます)
◆指定する屋内プール　会津若松市コミュニティプール(会津若松市河東町南高野字金剛田1)
◆助成額　会津若松市民料金との差額を助成します。
○大人…1回270円
○高校生…1回210円
○小中学生…1回110円
※参考…会津若松市民以外の方の利用料金(2時間)
○大人…1回810円
○高校生…1回640円
○小中学生…1回320円
◆手続き　助成事業を活用したプール利用の際には、利用者カードの提示が必要となりますので、事前に手続きをお願いします。
　申請は、印鑑を持参のうえ、生涯学習課または各総合支所住民課教育担当で手続きをしてください。
問 申 生涯学習課 スポーツ振興係
☎(24)5319または各総合支所 住民課教育担当

蔵のまち喜多方桜ウォーク2015開催にご協力を

蔵のまち喜多方桜ウォークを4月25日(土)に、日中線記念自転車歩行者道をメインコースとして開催します。
　当日は、市内外から約2000人の参加が予定され、押切川公園スポーツ広場やコース周辺の混雑が予想されます。市民の皆さんのご協力をお願いします。
　なお、申し込みなど、詳細については、広報3月号をご覧ください。
問 桜ウォーク実行委員会事務局(生涯学習課 スポーツ振興係内)
☎(24)5319